

## 外付けストレージのサポート

### 1. 本書について

本書では、USB3.0 インターフェースによる外付けストレージを使用する方法について説明します。

### 2. 仕様

#### 2-1. 最大接続数

NVR は、最大 5 台のディスクドライブを搭載した USB3.0 接続ストレージをサポートします。

#### 2-2. 電源

接続する外付けストレージは別途電源の取り付けが必要です。外付けストレージは NVR より先に電源を入れる必要があります。

#### 2-3. ホットスワップのサポート

外付けストレージではホットスワップはサポートされていません。外付けストレージの接続が切断された場合、録画は NVR の内蔵ディスクを使用して続行されます。

#### 2-4. ストレージ構成

外付けストレージのストレージ構成は、内蔵ストレージとは別途構成されます。例えば、内蔵ストレージと外付けストレージで RAID を構成することはできません。外付けストレージ上の RAID ボリュームは、NVR 上では単一の大型ディスクドライブとして表示されず。

#### 2-5. 外付けストレージの使用用途

外付けストレージは以下の 2 種類の使用用途があります。

##### 1. 録画用ストレージとして使用する

外付けストレージを NVR のディスクボリュームとして設定する必要があります。

1 つのディスクボリュームのサイズは最大 16TB までをサポートしています。

##### 2. バックアップデバイスとして使用する

NVR のディスクボリュームとして設定していない外付けストレージは、NVR のバックアップデバイスとして使用することができます（録画データのエクスポート先）。これを行うには、外付けストレージ内のディスクドライブを FAT32 または NTFS 形式でフォーマットする必要があります。

バックアップデバイスとして使用する場合、最低 64GB のディスク容量が必要です。

#### 2-6. 制限事項

1. 外付けストレージ内のディスクドライブに映像をエクスポートする場合、他のディ

スクドライブを選択して新しいボリュームを作成することはできません。

2. 外付けストレージ内のディスクドライブまたはボリュームが 1TB 未満の場合、それを NVR のボリュームとして設定することはできません。
3. 外付けストレージへの接続インターフェースは、USB 3.0 規格に準拠している必要があります。
4. NVR での RAID またはボリューム構成は、外付けストレージのデバイスを含むように拡張できません。

### 3. 操作方法

外付けストレージは、通常録画用のストレージおよび、エクスポート機能のバックアップディスクとして使用できます。

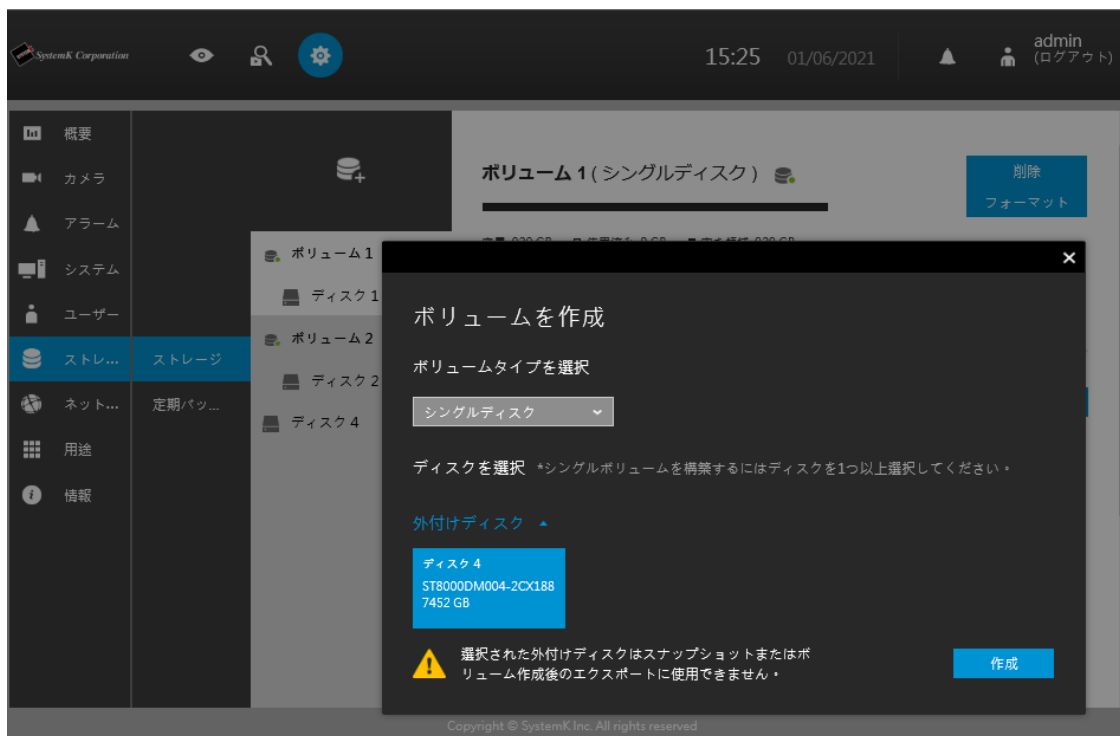
それぞれの用途に応じて必要な操作方法が異なります。

#### 3-1. 録画用ストレージとして使用する場合

1. NVR の電源をオフにします。
2. 外付けストレージを NVR 背面の USB3.0 ポートに接続します。
3. 外付けストレージの電源を投入します。
4. NVR の電源を入れ、[設定]>[ストレージ]>[ストレージ]画面を開き、[ボリュームを作成]ボタンをクリックします。

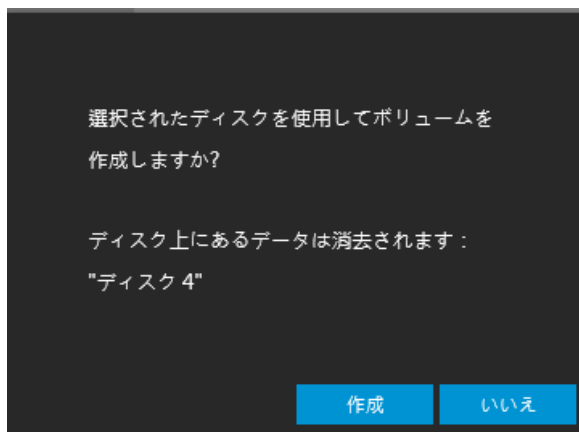


5. ボリュームタイプを選択し、[外付けディスク]の欄からボリュームを作成する外付けディスクを選択し、[作成]ボタンをクリックします。



6. 確認画面が表示されるので、[作成]をクリックします。

※ボリュームを作成すると、選択したディスク内に存在するデータは消去されます。



7. ボリュームの作成が完了すると、内蔵ストレージと同様に、通常録画先として外付けストレージを使用できるようになります。

ボリュームを作成した外付けストレージを取り外す場合、NVRの電源をオフにした後、外付けストレージを取り外します。

### 3-2. エクスポート機能のバックアップデバイスとして使用する場合

1. 外付けストレージを、FAT32 または NTFS 形式でフォーマットします。
2. 外付けストレージを NVR 背面の USB3.0 ポートに接続します。
3. 外付けストレージの電源を投入します。
4. ディスプレイ操作画面上で、録画データのエクスポート操作を行います。

※録画データのエクスポート操作の詳細は NVR マニュアルのディスプレイ操作編をご参照ください。

バックアップデバイスとして使用している外付けストレージは NVR 本体の電源を入れたままを取り外すことができます。